



ペットフードを理解する

ペットフードのラベル表示を理解する - AAFCO

ペットフードのラベル表示には、製品固有の情報（強調表示など）に加えて、連邦規制や州規制によって義務付けられている詳細情報が含まれています。米国資料検査官協会（AAFCO）は、規制権限を持ちませんが、米国、カナダ、コスタリカ、プエルトリコのペットフードや他の動物飼料を規制する政府機関の代表で構成されています。AAFCOは、規制機関に対しペットフード規制モデルを提供しており、このモデルは多くの州で州規制に組み入れられています。AAFCOのペットフード法規制モデルでは、ペットフードのラベル表示に次の情報を含めることを求めています。

注記：

パッケージによって情報の記載場所は異なる場合があります。



ブランド名。

正味重量 - パッケージに含まれるフードの重量。

製品の記述 - AAFCO が定義する条件下では、成分や味の名称が含まれることがある。

製品の対象となる動物の種類、対象となるライフステージ（成長期（仔犬または仔猫）/繁殖期、成犬の維持期、または全ライフステージ）。



保証分析値とは、製品の**栄養素含有量**を指します。このリストには、**粗タンパク質**、**粗脂肪の最小割合 (%)**と**粗繊維**および**水分の最大割合 (%)**が含まれる必要があります。

原材料は、製造時における**重量の降順**に表示されています。

製造者/販売者の**名称および住所**。

Nutritional Adequacy Statement (栄養適切性に関する表示) - 特定のライフステージ用に「**complete and balanced (完全にバランスのとれた)**」と明記するには、そのフードがAAFCOの**栄養基準を満たす/超えるものである**、またはAAFCOのガイドラインに従った給餌試験に合格している必要があります。一部のペットフードは「**intermittent or supplemental (間欠的または補助的)**」な目的で調整されており、これらは「**complete and balanced (完全にバランスのとれた)**」とは見なされません。

給餌の目安 - ペットの体重に基づく**1日あたりの給餌量**。一般的に、給餌の目安はペットの**平均的なエネルギー/カロリー必要量**に基づいているため、個体によって**推奨量よりも多い量や少ない量が必要になることがあります**。

カロリー表示は、フード**1 kg あたりのキロカロリー (kcal)**、またはフードの標準的な計量器(カップなど)単位あたりの kcal で表されます。

消費期限(賞味期限)は、フードの**保存可能期間**を表します。

製品の**トレーサビリティコード**は、**製造年月日**と**フードの製造工場**を示します。

(次のページに続く)

用語に関する詳細情報：

- 製品説明には、次のような**AAFCO の定義による場合**の原材料や味の名称が含まれることがあります。
 - 「100%」（「100% Beef (100% ビーフ）」など）は、その指名された原材料が製品の 100% を構成していることを示します（水分、微量の保存料、その他の補助的原材料を除く）。通常、このような製品は、完全にバランスのとれた栄養を提供しないため、おやつや「トッピング」になります。
 - 「95%」（「95% Beef Dog Food (95% ビーフのドッグフード）」や「Salmon and Chicken Cat Food (95% サーモンとチキンのキャットフード）」など）は、フードの重量の 95%（水分を除いた場合、水分を含めると 70%）がその指名された原材料または原材料の組み合わせで構成されていることを示します。製品名に原材料の組み合わせが含まれている場合、各原材料は 3% 以上含まれている必要があり、それらの原材料は原材料名の降順に記載されなければなりません。このような製品は、完全にバランスのとれた栄養を提供することができます。
 - 「Chicken & Rice Formula (チキン & ライスフォーミュラ）」のような記載にある、「dinner (ディナー)」、「platter (盛り合わせ)」、「entrée (メインディッシュ)」、「formula (フォーミュラ)」、「recipe (レシピ)」は、指名された原材料の合計がフードの重量で 25% 以上（水分を除いた場合、水分を含めると 10%）で各原材料が 3% 以上（水分を除く）含まれていることを示します。メーカーは、このような要件に適合する原材料を製品名の一部として記載しない、一部を記載する、または全部を記載する、のいずれかを選択できます。
 - 「with Sweet Potato (さつまいも入り）」のような記載にある「With (～入り)」は、その指名された原材料がフードの重量で 3% 以上（水分を除く）含まれていることを示します。
 - 「Chicken Flavor (チキン味)」のような記載にある「Flavor (味)」は、その指名された原材料が味付けのために必要量のみ含まれる必要があることを示します。
- **栄養素含有量** – その他の栄養素は、保証分析値の欄の水分の次に記載することができます。パッケージの強調表示に、「DHA for brain and vision development (脳と視力の発達のための DHA)」のような栄養素が含まれている場合、その栄養素は、最小量として保証分析値に含める必要があります。保証分析値の記述は、最小値または最大値に基づいています。これに対して、ブランド/製品に関する説明やメーカー/ブランドのウェブサイトに掲載されている栄養分析の「標準」値や「平均」値は平均分析値に基づいており、保証分析値とは異なります。
- 「**Crude (粗)**」とは、その栄養素量の測定に使用されるアッセイ (分析方法) を指します。使用されている原材料の品質を言及または反映するものではありません。
- すべての**原材料**は、AAFCO が定義する名称で個別に記載する必要があります。AAFCO が定義する名称や定義のない原材料については、一般名または通常使用されている名称を使用します。ブランド名の使用は認められていません。肉および肉副産物の種類が牛、豚、羊、またはヤギ以外の場合は、その種名を記載する必要があります。メーカーが希望する場合は、牛、豚、羊、またはヤギを種名として記載することができます（必須ではない）。原材料の品質を表示することは認められていません。個別の原材料を強調することのないように、すべての原材料について、同じフォント、大きさ、色の文字を常に使用しなければなりません。
- 「**Feeding Directions (給餌の目安)**」はガイドラインです。すべてのペットには個体差があり、ペットのカロリー必要量は、活動量、年齢、種類（犬種・猫種）、環境、遺伝など多くの因子によって左右される可能性があります。ペットの体型を定期的にチェックして、理想体型を維持するように給餌量を調整する必要があります。

(次のページに続く)

- **「Complete and balanced (完全でバランスのとれた)」**とは、そのフードには、すべての栄養素が適量かつ他の栄養素に対して適切な割合で含まれていることを示しています。「Nutritional Adequacy Statement (栄養適性表示)」は、次の3つの形式のいずれかで記載されます。いずれの形式も、製品名、およびそのフードが完全でバランスのとれた栄養を提供するライフステージ (成長期 [仔犬または仔猫] /繁殖期、維持期、または全ライフステージ) を明記します。
 - 「formulated to meet (適合するよう調製されている)」は、このフードが栄養プロファイル基準に適合していることを示しています。
 - 「animal feeding test (動物給餌試験)」の強調表示は、AAFCO の給餌プロトコルに従って犬または猫に給餌したことを意味しています。
 - 「family products claim (同シリーズの製品に関する強調表示)」は、この製品と同じ「family (シリーズ)」の別製品が動物給餌試験によって実証されている場合に使用されます。この場合、フードの配合が若干異なることは許容されますが、基本的な栄養素構成が異なることは認められません。
- **「intermittent or supplemental (間欠的または補助的)」**は、通常、ブロス (スープ) または「トッピング」に使用されますが、一部のウェットフードが含まれる場合があります。この種のフードは、完全でバランスのとれた栄養を提供しないため、完全でバランスのとれた食餌の補助食として与えることを目的としています。獣医師用療法食の中には、「intermittent or supplemental (間欠的または補助的)」と表示されている場合があります。これは、この種のフードでは、ラベル表示されている疾患に対応するために特定の栄養素が制限されており、正常で健康な動物を対象とする完全でバランスのとれた栄養を提供していないためです。このような療法食は、獣医師の指示の下でのみ与えることを目的としています。

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。